

試験結果報告書

有限会社 伊東産業 殿

一般財団法人 日本塗料検査協会 東支部
神奈川県藤沢市宮前6-3-6 3



依頼 No. 163854

報告日：平成29年 2月27日

支部長	担当者

品名	シボテックス クール工法 サンプル イエロー	試料受付日	平成29年 2月13日
		試料採取日	平成29年 2月10日
		試料採取場所	提出
製造者	有限会社 伊東産業	試料数量	1

提出された試験片について、以下の試験を行った。試験結果を表1～2、分光反射率を図1に示す。

1. 日射反射率

試験方法：JIS K 5602:2008 塗膜の日射反射率の求め方 7 分光反射率の測定及び 8 日射反射率の求め方に準じ、日射反射率を求めた。また、JIS Z 8722:2009 色の測定方法—反射及び透過物体色 5.3 反射物体の測定方法 5.3.1 照射及び受光の幾何条件 d) 幾何条件 d[記号：8° (de)]に準じ試験面の三刺激値を測定し、JIS Z 8781-4:2013 測色—第4部:CIE 1976 L*a*b*色空間 4 計算方法 4.1 基本座標に準じ、D₆₅光源におけるL*a*b*を算出した。
なお、無彩色の場合は、JIS Z 8721:1993 色の表示方法—三属性による表示 附属書 標準の光 D₆₅の照明下における三属性による表色系の基準に準じ、D₆₅光源における明度を算出した。

表1 日射反射率試験結果

品名	日射反射率 %			試験面の色			
	全波長域 300~2500nm	近紫外及び 可視光域 300~780nm	近赤外域 780~2500nm	L*	a*	b*	V
シボテックス クール工法 サンプル イエロー	68.6	60.6	79.3	82.7	-0.2	23.5	—

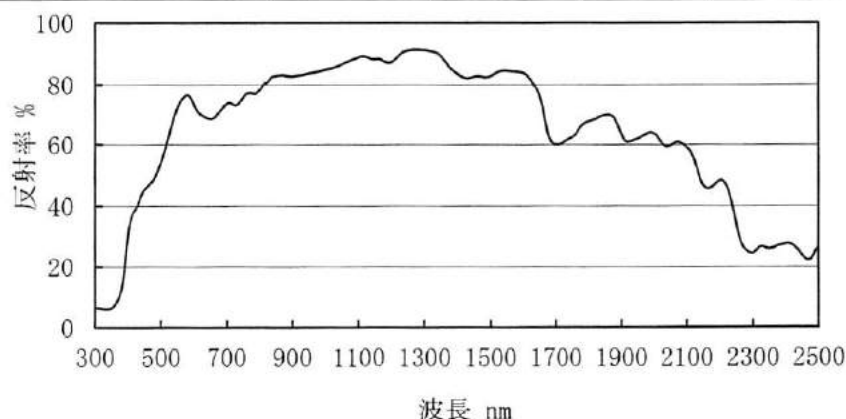


図1 分光反射率

依頼 No. 1 6 3 8 5 4

2. 長波放射率

試験方法：JIS R 3106:1998 板ガラス類の透過率・反射率放射率・日射熱取得率の試験方法 7. 常温の熱放射の放射率の算定に準じ垂直放射率を求め、さらに JIS R 3107:1998 板ガラス類の熱抵抗及び建築における熱貫通流率の算定方法 5. 算定式に用いる数値 5.2 放射率の値 a) に準じ、修正放射率を求めた。但し、バックグラウンドの測定は金蒸着ガラス板を用いた。

使用機器：PERKIN ELMER 製 FT-IR Spectrometer SPECTRUM 100

PIKE Technologies 製 10° 正反射アタッチメント

FFT 積算回数：16 回

波長範囲：5～25 μm (2000～400 cm^{-1})

表 2 長波放射率(修正放射率)試験結果

品 名	結 果
シボテックス クール工法 サンプル イエロー	0.88

備考

試験片の形状：塗板

以 下 余 白